

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 河南 嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	--------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名 (主)西脇三田線 緊急地方道路整備事業 Aタイプ	事業区間 美囊郡吉川町古市 0.94km	総事業費	約8.2億円 (うち用地補償費 3.3億円)
------	-----	---------------------------------------	----------------------------	------	------------------------------

所 在 地	着工予定年度	完成予定年度
美囊郡吉川町古市	H15年度	H19年度

事業目的	事業内容等
<p>本路線は、地域間を連絡する重要路線である。当事業箇所は、1日当たりの交通量が約7,000台と多いが、沿線に人家が連担しており、平面線形が悪いうえ幅員も狭いため、日常的な交通渋滞や交通事故が多発する交通の隘路となっている。これらを解消するためのバイパスを整備する。</p> <p>なお、当区間の整備により、西脇三田線全線の改築が完了する。</p>	<p>道路改良 L = 940m W = 2車線 + 片側歩道 : 6.5(11.25)m 交通量(台/日) : 現況 6,890 計画 8,000</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心を確保 交通渋滞の解消 快適な生活環境をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去2ヶ年で人身4件、物損16件の事故が発生している危険箇所が解消される。</li> <li>・緊急輸送道路に指定されており、バイパス整備により幅員の狭い現道に万一建物倒壊等が発生しても交通の確保ができる。</li> <li>・歩行者、自転車、自動車の混在通行で走行速度が低下し、交通渋滞が発生しているが、本事業により渋滞解消が図られる。</li> <li>・バイパス整備により現道に面した騒音、振動等が解消され、沿道住民の生活環境が改善される。</li> </ul>
(2)有効性・効率性 有効性 代替性 効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年発生する数件の交通事故が解消又は減少するため事業効果大。</li> <li>・現道を拡幅する場合、20件程度の建物移転が必要となるが、付近に代替用地もなく、地形条件を考慮すると集落形成に与える影響が大きいため、バイパス整備が妥当である。</li> <li>・ルートについては、経済性や地元住民とも協議しながら検討し、住民の了解を得ている。</li> <li>・安全確保から地元住民の要望が強く、円滑な事業執行に向け協力体制にある。</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス整備により走行速度が向上し、排出ガス量の減少効果がある。</li> <li>・歩道や法面等に植栽することにより環境への影響を最小限とする。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多発する交通事故対策上早期に事業着手が必要。</li> </ul>